天方地区中学生以上全住民アンケート結果について

株式会社 政策基礎研究所

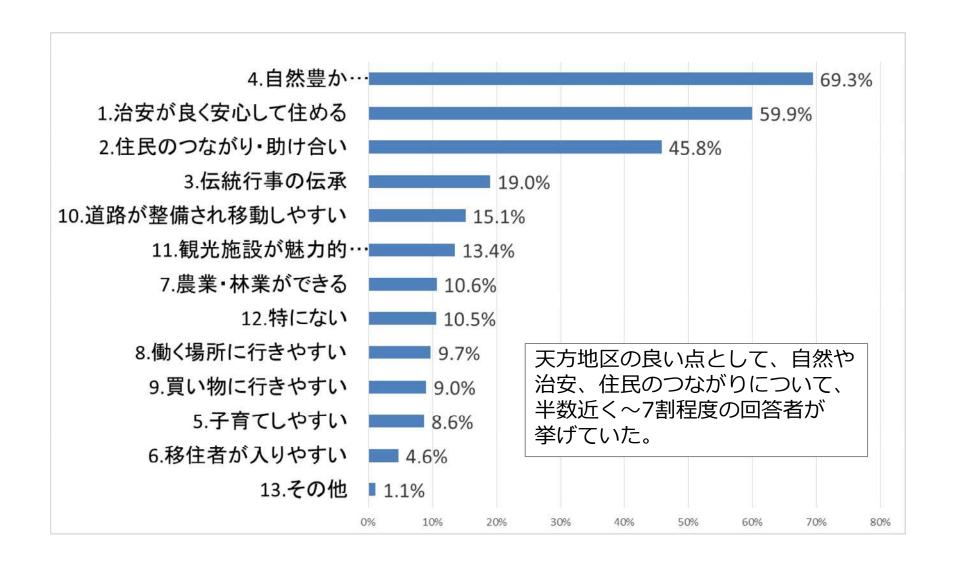
アンケート回答者属性(全体の票数:848票)

<性別> 1.男性 408 2.女性 418 無回答 22	(48.1%) (49.3%) (2.6%)	
< 1.10	62 76 61 90 136 151 136 103 23 10	(7.3%) (9.0%) (7.2%) (10.6%) (16.0%) (17.8%) (16.0%) (12.1%) (2.7%) (1.2%)

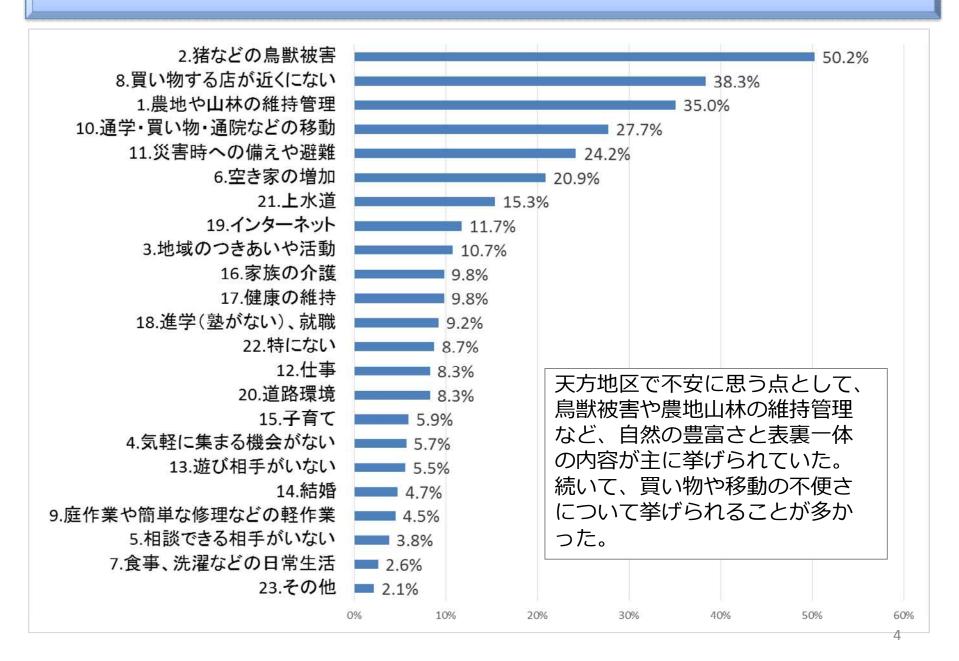
回答者の年代は、60歳代が最多の17.8%で、50~80歳代で62.0%を占めた。

く 1. 3. 4. 5. 4. 5. 6. 4. 8. 4. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8.	Nの町内 225 47 170 154 89 102 38 1 22	会> (26.5% (5.5%) (20.0% (18.2% (10.5% (12.0% (4.5%) (0.1%) (2.6%)	a) a)
1. 2. 3. 4. 2. 3. 4.	・団体職員 員 帚(夫) 学生 アルバ	26 23 63 68	(8.4%) (7.0%) (24.1%) (3.1%) (2.7%) (7.4%) (8.0%) (14.0%) (24.3%) (1.8%) ²

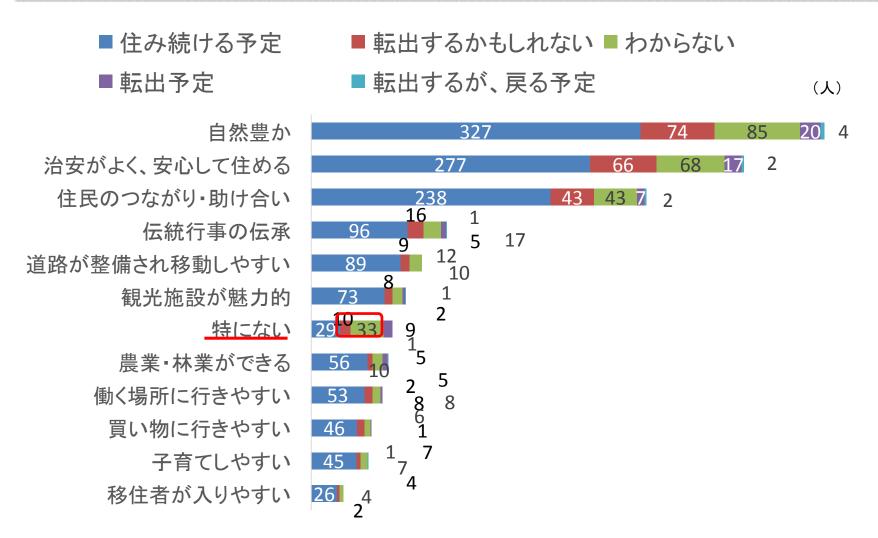
天方地区に住んでいて、あなたが良いと思う点(全体の票数:848票)



天方地区に住んでいて、あなたが不安に思うこと(全体の票数:848票)

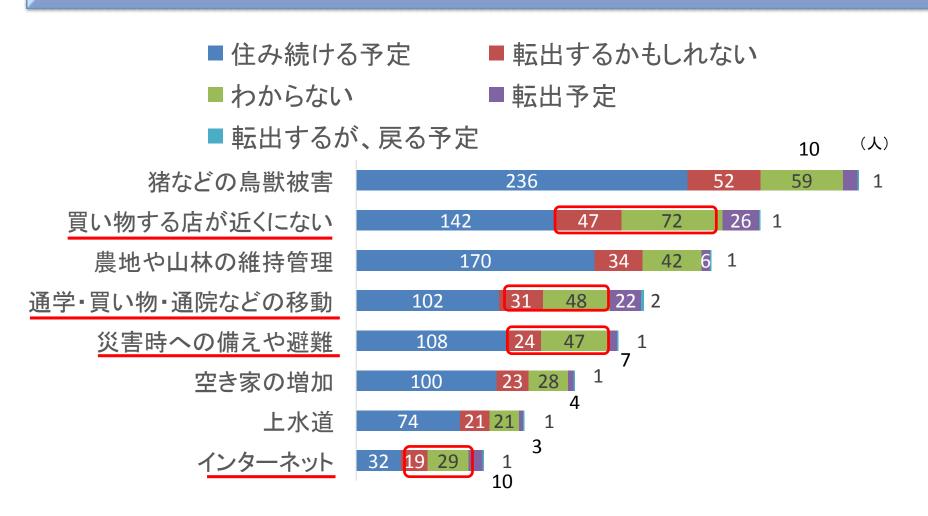


「天方地区の良い点」別の 「天方地区に住み続ける予定」の割合 (回答者690名 複数回答あり)



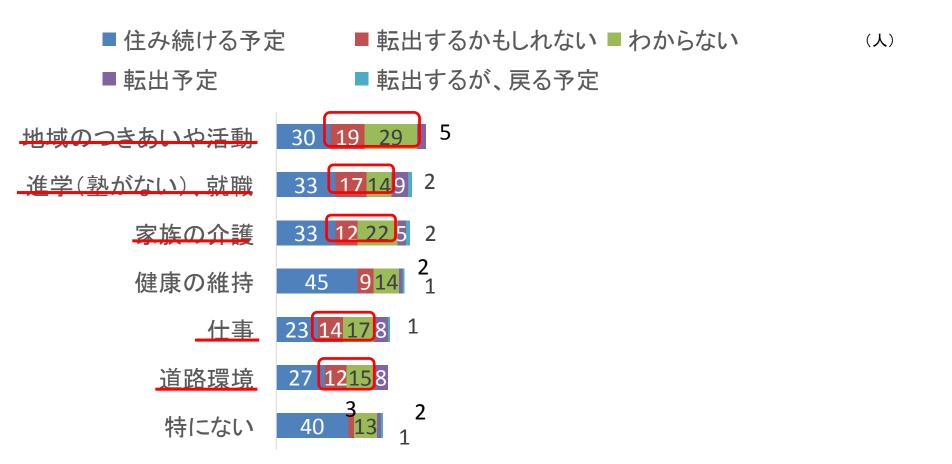
「特にない」の割合は全体の12%であった。「特にない」の回答者の中で「転出するかもしれない」「わからない」割合は53%であった。

「天方地区に住んでいて不安なこと、困っていること」別の 「天方地区に住み続ける予定」の割合(回答者683名 複数回答あり)



「買い物する店が近くにない」「通学・買い物・通院などの移動」「災害時への備えや避難」の回答者の中で「転出するかもしれない」「わからない」割合は約40%、「インターネット」の回答者の中では約50%であった。

「天方地区に住んでいて不安なこと、困っていること」別の 「天方地区に住み続ける予定」の割合(回答者683名 複数回答あり)(続き)



「転出するかもしれない」「わからない」割合は「地域のつきあいや活動」の回答者の中で約60%、「家族の介護」「仕事」の中では約50%、「進学、就職」「道路環境」の中では約40%であった。

「天方地区での活動」別の 「**重要度**」の割合

■重要 ■ やや重要 ■ どちらともいえ ■ あまり重要でない ■ 重要でない ■ 活動内容がわからないない



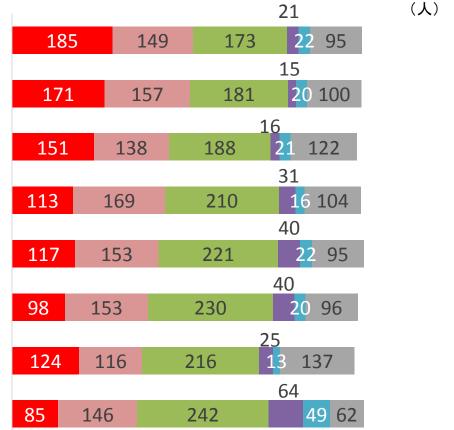
重要度の高い項目は、居住環境の整備、続いて子育て・介護予防や文化的・ 経済的活動があげられた。

「天方地区での活動」別の 「**重要度**」の割合 (続き)

■ 重要 ■ やや重要 ■ どちらともいえ ■ あまり重要でない ■ 重要でない ■ 活動内容がわからない ない

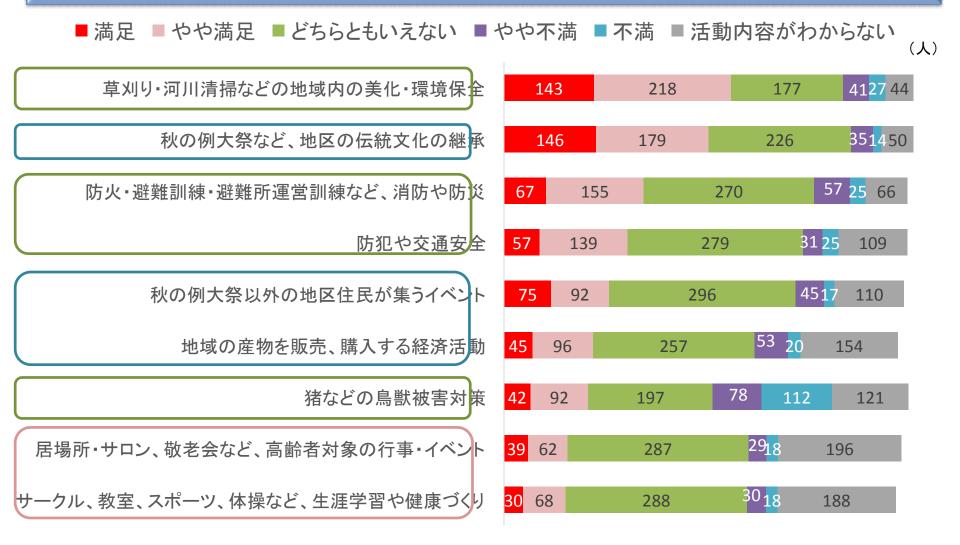
地区外の人を呼び込むための観光や体験などの交流 空き家紹介や地区の案内など、移住希望者の受入 インターネット等を活用した地域住民以外への広報や情報 発信 子供会など、主に子ども対象の行事・イベン 居場所・サロン、敬老会など、主に高齢者対象の行事・イベ サークル、教室、スポーツ、体操など、生涯学習や健康づ**く** 障がいの有無、年齢、性別に関わらず参加

秋の例大祭以外の地区住民が集うイベント



重要度の割合が中央〜低い項目は、子育て・介護予防や文化的・経済的活動が 多かった。

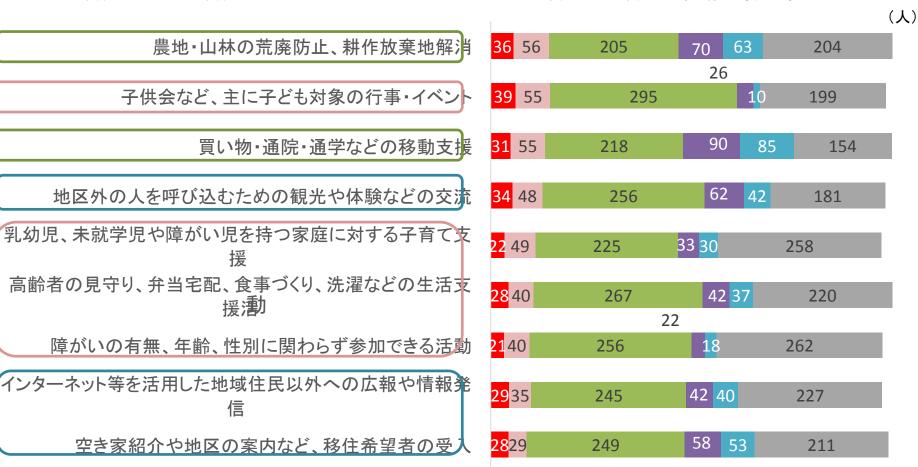
「天方地区での活動」別の 「**満足度**」の割合



満足度の高い~中央の項目は、居住環境の整備や文化的・経済的活動があげられた。

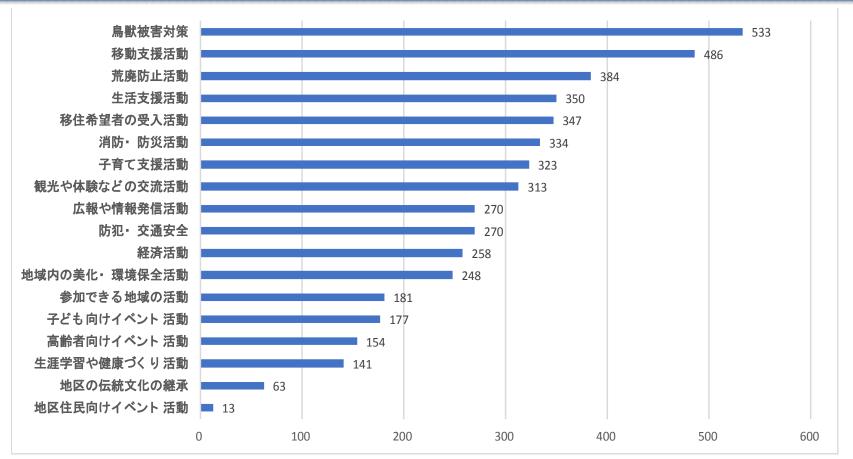
「天方地区での活動」別の「満足度」の割合 (続き)





満足度の割合が低い項目は、子育て・介護予防が多く、次に居住環境の整備や 文化的・経済的活動があげれた。

地域で不足度の高い活動



(重要度) 重要である/やや重要である:1点

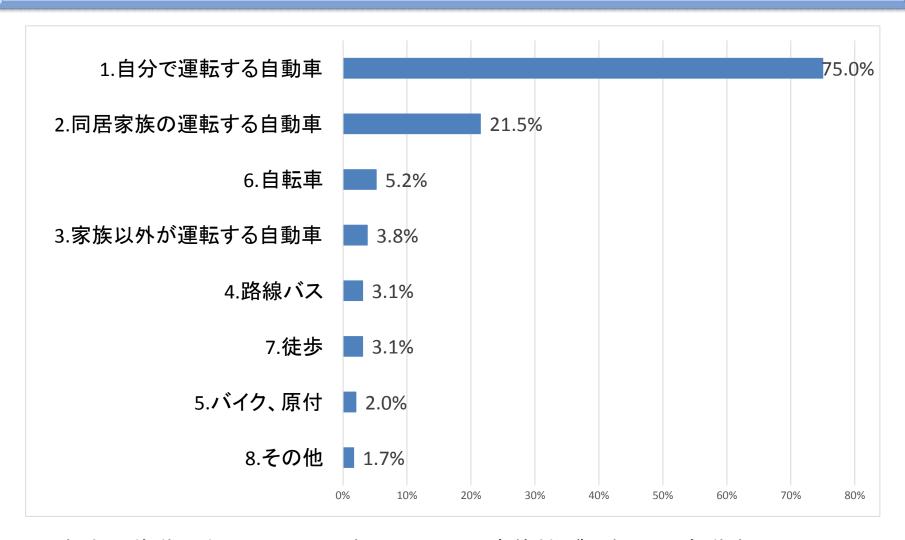
(重要度) あまり重要でない/重要でない: -1点

(満足度)満足・十分活動している/やや満足している:1点

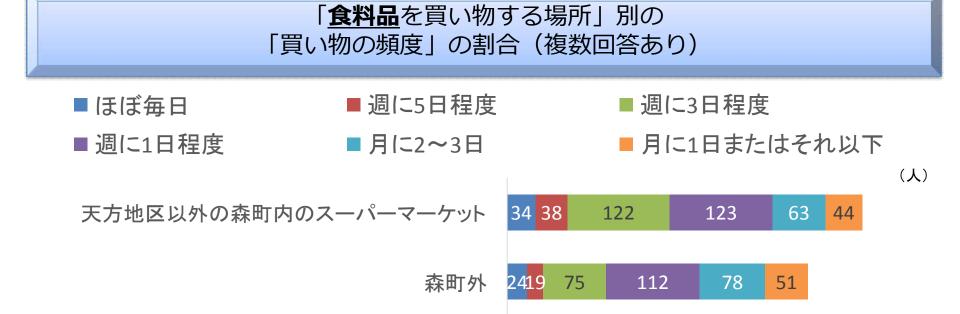
(満足度) やや不満である/不満である 活動が足りない:-1点

(共通)どちらともいえない/活動内容が分からない:0点 として、(不足度)=(重要度)-(満足度)として集計

日常的な移動手段(全体の票数:848票)



日常的な移動手段としては、本人もしくは家族等が運転する自動車としている回答者が大半を占めていた。



10 10

16

7

48

158

134

10

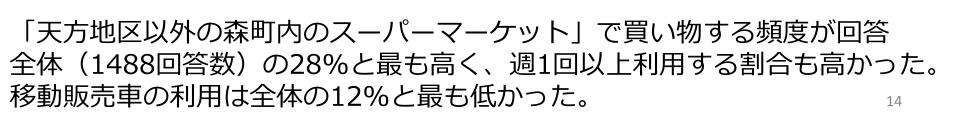
161

天方地区内の小売店(山里の市、市川商店、かづさ

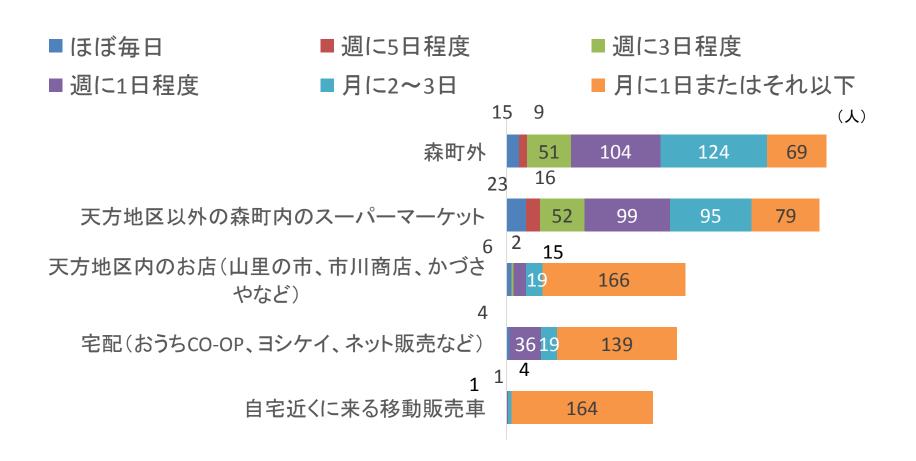
やなど)

宅配(おうちCO-OP、ヨシケイ、ネット販売など)

自宅近くに来る移動販売車



「**日用品**を買い物する場所」別の 「買い物の頻度」の割合(複数回答あり)

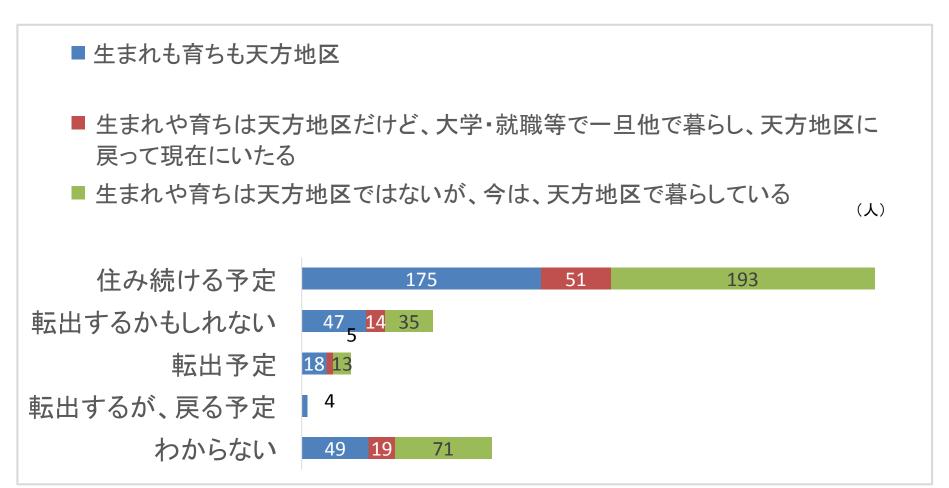


「森町外」で買い物する頻度が回答全体(1312回答数)の28%と最も高かった。週1回以上利用する割合は、「天方地区以外の森町内のスーパーマーケット」「森町外」とも高かった。移動販売車の利用は全体の13%と最も低かった。

地区で優先して取り組むべき活動 (全体と年代別上位)

全体		10歳代		20歳代	1	30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳代		90歳代以上	
合計	575		56		53	5,7	46		73	11	13	100	115		87		28		4
猪などの鳥獸被 害対策の活動		買い物・通院・ 通学などの移動 支援活動	19	買い物・通院・ 通学などの移動 支援活動		空き家紹介や 地区の案内な ど、移住希望者 の受入活動		猪などの鳥獣被 害対策の活動		買い物・通院・ : 通学などの移動 支援活動	_	猪などの鳥獸被 害対策の活動	50	猪などの鳥獣被 害対策の活動		農地・山林の荒 廃防止、耕作 放棄地解消な どの活動		猪などの鳥獣被 害対策の活動	3
買い物・通院・ 通学などの移動 支援活動		秋の例大祭な ど、地区の伝統 文化の継承	17	地区外の人を 呼び込むための 観光や体験など の交流活動		買い物・通院・ 通学などの移動 支援活動		防火・避難訓 線・避難場所運 営訓練など、消 防や防災の活 動		農地・山林の荒 3 廃防止、耕作 放棄地解消な どの活動		農地・山林の荒 廃防止、耕作 放棄地解消な どの活動		農地・山林の荒 廃防止、耕作 放棄地解消な どの活動		猪などの鳥獸被 害対策の活動		農地・山林の荒 廃防止、耕作 放棄地解消な どの活動	2
農地・山林の荒 廃防止、耕作 放棄地解消な どの活動		地区外の人を 呼び込むための 観光や体験など の交流活動	15	秋の例大祭な ど、地区の伝統 文化の継承		乳幼児、未就 学児や障がい児 を持つ家庭に対 する子育で支援 活動		買い物・通院・ 通学などの移動 支援活動	-	猪などの鳥獣被 3 害対策の活動		草刈り・河川清 掃などの地域内 の美化・環境保 全活動		買い物・通院・ 通学などの移動 支援活動		草刈り・河川清 掃などの地域内 の美化・環境保 全活動		高齢者の見守り、弁当宅配、 食事がり、洗 選などの生活支 援活動	2
空き家紹介や 地区の案内な ど、移住希望者 の受入活動		インターネット等を活用した地域 を活用した地域 住民以外への 広報や情報発 信	15	空き家紹介や 地区の案内な ど、移住希望者 の受入活動		猪などの鳥獣被 害対策の活動		草刈り・河川清 掃などの地域内 の美化・環境保 全活動		防火・避難訓 3 練・避難場所運 営訓練など、消 防や防災の活 動		買い物・通院・ 通学などの移動 支援活動	30	空き家紹介や 地区の案内な ど、移住希望者 の受入活動		買い物・通院・ 通学などの移動 支援活動		空き家紹介や 地区の案内な ど、移住希望者 の受入活動	2
草刈り・河川清 掃などの地域内 の美化・環境保 全活動		草刈り・河川清 掃などの地域内 の美化・環境保 全活動	13	草刈り・河川清 掃などの地域内 の美化・環境保 全活動		高齢者の見守り、弁当宅配、 食事づべり、洗 選などの生活支援活動		農地・山林の荒 廃防止、耕作 放棄地解消な どの活動		空き家紹介や 2 地区の案内な ど、移住希望者 の受入活動		空き家紹介や 地区の案内な ど、移住希望者 の受入活動	28	草刈り・河川清 掃などの地域内 の美化・環境保 全活動		秋の例大祭な ど、地区の伝統 文化の継承		秋の例大祭以 外の地区住民 が集うイベント開 権	1
防火・避難訓 練・避難場所運 営訓練など、消 防や防災の活 動		防火・避難訓 練・避難場所運 営訓練など、消 防や防災の活 動	11	猪などの鳥獣被 害対策の活動		地区外の人を 呼び込むための 観光や体験など の交流活動		空き家紹介や 地区の案内な ど、移住希望者 の受入活動		草刈り・河川清 掃などの地域内 の美化・環境保 全活動		防火・避難訓 線・避難場所運 営訓練など、消 防や防災の活 動		防火・避難訓 練・避難場所運 営訓練など、消 防や防災の活 動		防犯や交通安 全に関する活動		買い物・通院・ 通学などの移動 支援活動	1
地区外の人を 呼び込むための 観光や体験など の交流活動		空き家紹介や 地区の案内な ど、移住希望者 の受入活動	11	高齢者の見守り、弁当宅配、 食事づくり、洗 選などの生活支援活動	100000	草刈り・河川清 掃などの地域内 の美化・環境保 全活動		高齢者の見守り、弁当宅配、 食事づくり、洗 選などの生活支援活動		高齢者の見守 り、弁当宅配、 食事づくり、洗 選などの生活支 援活動		高齢者の見守り、弁当宅配、 食事がり、洗 程などの生活支援活動		地区外の人を 呼び込むための 観光や体験など の交流活動		高齢者の見守り、弁当宅配、 食事づくり、洗 選などの生活支 援活動		地区外の人を 呼び込むための 観光や体験など の交流活動	1

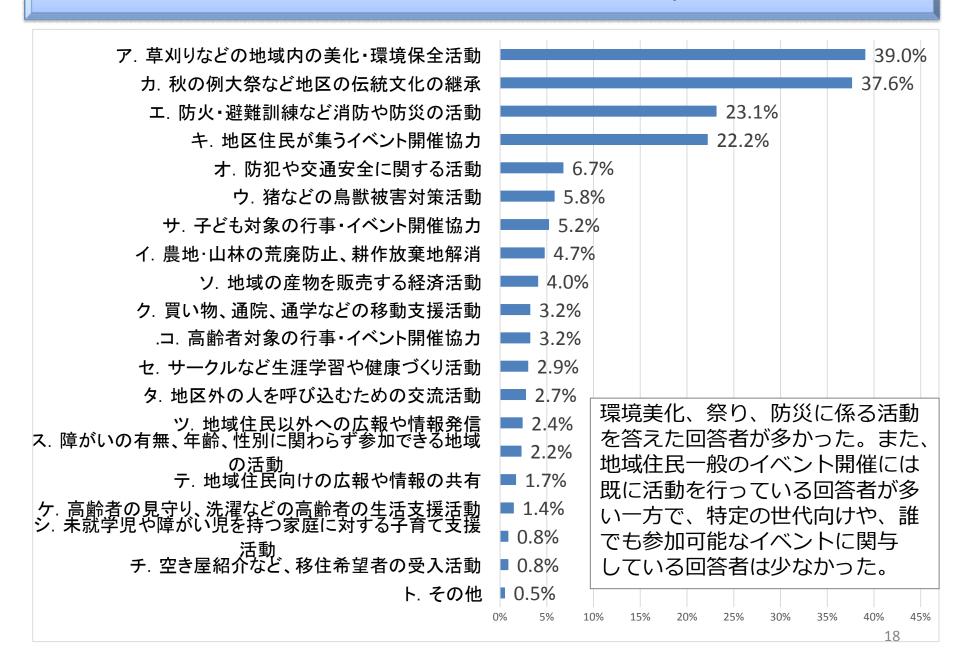
「天方地区に住み続ける予定」別の 「天方地区に暮らすようになった経緯」の割合(回答者694名)



「住み続ける予定」の割合は全体の60%であった。「転出するかもしれない」 「わからない」割合は全体の34%であった。

天方地方の出身かどうかで、住み続ける予定は大きく異なることはなかった。

行っている活動(全体の票数:848票)



行ってみたい活動・協力できる活動(全体の票数:848票)

サ. 子ども対象の行事・イベント開催協力 10.1% コ. 高齢者対象の行事・イベント開催協力 8.1% ア. 草刈りなどの地域内の美化・環境保全活動 7.9% タ. 地区外の人を呼び込むための交流活動 7.7% キ. 地区住民が集うイベント開催協力 7.5% セ. サークルなど生涯学習や健康づくり活動 7.5% ソ. 地域の産物を販売する経済活動 7.4% カ. 秋の例大祭など地区の伝統文化の継承 ス. 障がいの有無、年齢、性別に関わらず参加できる地域 6.7% 6.7% の活動 ケ. 高齢者の見守り、洗濯などの高齢者の生活支援活動 6.6% ツ. 地域住民以外への広報や情報発信 6.1% オ. 防犯や交通安全に関する活動 5.9% エ. 防火・避難訓練など消防や防災の活動 5.8% ク. 買い物、通院、通学などの移動支援活動 5.8% シ 未就学児や障がい児を持つ家庭に対する子育て支援 5.8% 活動 イ. 農地·山林の荒廃防止、耕作放棄地解消 5.7% イベント開催に 5.3% チ. 空き屋紹介など、移住希望者の受入活動 係る活動が上位 ウ. 猪などの鳥獣被害対策活動 4.6% に集まっている テ. 地域住民向けの広報や情報の共有 4.4% 傾向にあった。 ト. その他 0.0% 0% 2% 6% 8% 10% 12% 4%

今後の活動内容で考えられること

- ▶ 地区で優先して取り組む課題として、鳥獣被害対策、 移動支援、農地山林荒廃防止、移住希望者の受け入 れ活動が上位に挙がる
 - ⇒鳥獣や木材・竹などの有効活用を行うと共に、それを地域の魅力として発信
- ▶子ども・高齢者などを対象とするイベントや、地区外の方との交流、生涯学習や健康づくり活動で活動希望者が多く、それらを現状行っている者は少ない
 - ⇒上記以外の地域で採れる食材や森林資源、歩行や 運動に適した場所を使っての活動
- ➤ 不足度の高い活動は、上記で挙がったもの以外では、 防災関連や高齢者の支援活動など
 - ⇒上記の活動も交えて、非常時に助け合いのしや すい地域環境づくり